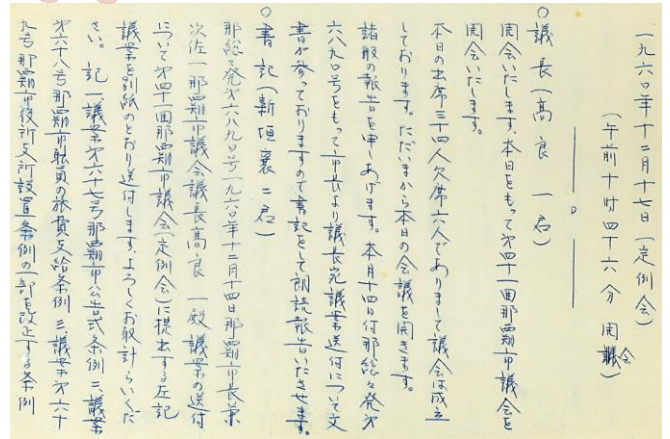


～縦から横へ～

1961 年は、那覇市において公文書の転換期でした。前年に公布された文書取扱の規定により、縦書きだった公文書は 1 月 1 日からすべて左綴りの横書きに切り替えられました。それに伴い、条例の漢数字をアラビア数字に改め、記号等も本土の市町村で採用されているものに改めたいという議案が可決されています。他にも、当用漢字と現代かなづかいを使用すること、文体は「です」「ます」を基調とすること等、読みやすく便利な公文書にしようという改善が図られました。

那覇市議会でも第 43 回定例会（1961 年）以降の会議録は横組みの活版印刷となり、これまでのようなカーボン紙を使用した縦書きの会議録は作成されなくなりました。

全部手書き！



縦書きの会議録（1960 年 12 月）

もしかしたら「沖縄市」になっていたかも…

～沖縄市改称問題～

1959 年 3 月、第 30 回議会において「市の名称を沖縄市に変更する」議案が提出されました。3 市 1 村が合併して市民 21 万人余の大那覇市となり、また沖縄の首都になっている以上それにふさわしい名称に改めるべきだ、と当時の兼次佐一市長は提案理由を述べています。『沖縄市』への改称問題は、大正、昭和の頃から度々取り上げられてきましたが、この議会でとうとう落ち着きます。

事前に開かれた公聴会や新聞では賛成多数のように思われましたが、賛成、反対、時期尚早、議案撤回の動議等約 4 時間にわたり様々な意見が交わされました。そして午後 8 時過ぎの挙手採決、その結果は賛成 18、反対 20。出席議員の 3 分の 2 の賛成が得られなかったため、『沖縄市』誕生はついでる事になったのです。



沖縄市改称の挙手採決

（『市民の友 1959 年 4 月 15 日』より）

